

# かみさと



学校教育目標  
豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ  
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより  
発行者 校長 梶山 崇 〒339-0006

令和4年7月1日(金) 7月号

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

TEL048-794-2316 メール: kamisato-e@saitama-city.ed.jp

## 3年ぶりの全校での運動会

校長 梶山 崇

早いもので1学期も残り3週間あまりとなりました。水泳学習も始まっていて、プールからは子どもたちの歓声が聞こえてきます。

さて、1か月少し前の5月24日に3年ぶりとなる全校での運動会が実施されました。令和2年3月からほぼ全児童が一同に会しての学校行事は行っていませんでしたので、3年ぶりとなりました。子どもたちの様子を見て、おそらく相当数の方が(私と同様に)目頭を熱くしたのではないのでしょうか。

運動会での子どもたちの様子はすべてがすばらしかったのですが、私から2つほど紹介させていただきます。

1つ目は表現種目です。なぜ、子どもたちはこんなにもダンスや踊りが上手なのでしょう？私の素直な感想です。もちろん子どもたちが練習からがんばったことが一番の理由かと思いますが、私は(昔と比べて)今の子どもたちは、リズム感がすばらしく、踊りやダンスへの抵抗感が以前より少なくなっているからだと思います。街中でも、テンポの速い曲が流れていることがよくあり、自然と身体がリズムに合わせて動いてしまうこともありますね。

子どもたちは曲に合わせてみんなで同じ動きを行うだけではなく、時間差をつけた動き、上から下に水が流れるような動き、世界に1つだけの自分の動きやポーズなど、本当にすばらしかったです。また、子どもたちの表情も生き生きとしていて、保護者のみなさまも改めて「かわいい！」と思ったことと思います。

私も小学生の頃を思い出してみましたが、ダンスや踊りは苦手でした。なので、なおさら上里小学校の子どもたちのダンスや踊りがすばらしく思えるのです。私が小学生のときは、テンポの速い曲に合わせて踊ったことはなく、どちらかと言えば、民謡を踊った記憶があります。それ以外では、当時子どもたちから大人気だった「ニコニコ音頭」を踊ったことは今でも思い出します。

2つ目は運動会に取り組む子どもたちの態度・姿勢です。21日(土)は運動会が降雨のため、途中中断になりました。そのため、子どもたちのいすが校庭に置いたままになっていました。少雨になった頃を見計らって、各学年の子どもたちが校庭にいすを取りにきました。5、6年生の子どもたちが自分たちのいすの他に、1、2年生の子どもたちのいすを教室に運ぶのを手伝ってくれました。また、徒競走で走り終わったあと、一緒に走った仲間をたたえ合ったり、声をかけ合ったりする姿が見られたり、団体競技では2位のチームが1位のチームに対して自然と拍手が出たりする様子などすべてに感動しました。相手に対して思いやる行動ができるのは上里小学校の子どもたちの伝統です。これからも子どもたちのすばらしいところを紹介していきたいと思います。

保護者のみなさまには感染防止にご協力いただきながら、運動会の運営にご支援いただき改めてお礼申し上げます。5月21日(土)当日は途中から雨が降ってきて、中断せざるを得ませんでした。あたたかいご配慮に感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症の状況によりますが、今後も実施可能な活動を実施可能な方法で進めていきたいと思っています。今月も本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。  
※6月の学校だよりでいじめ撲滅強化月間の取組を紹介したため、運動会の紹介が1か月遅れとなりました。ご容赦ください。